

設 立 趣 旨 書

1、趣旨

従来よりヨガが身体及び精神の機能向上に志すことから病気の予防として、また健康増進のための方法として多くの人々の生活の中で活用され、その効果を認められてきました。

たとえば現在、老人保健施設ならびに特別養護老人ホームなどにおいて、ヨガの指導を受けている高齢者の方々は笑顔が戻り、手足の機能が回復に向かうという効果が現れています。

滋賀県の障害を持つ児童はヨガを続けることにより、初めて運動会に参加でき、教育関係者からも賞賛を受けています。また知的障害の児童も仲間への声かけをして友達づくりができるように成長・変化をしています。

さらに静岡市立病院においては、マタニティヨガを行った結果、自然分娩で出産する妊婦が大半をしめ、出産時間も大幅に短縮され、生まれた子どもの情緒が安定しているというデータが出ています。

この法人は、ヨガを取り入れての総合的な健康支援を図るため、また健全なヨガを多くの方々に広めるために指導者の育成を図ることを設立の趣旨といたします。

2、申請に至るまでの経過

私達日本各地でのヨガ活動仲間は、お互いに交流を深めながら「安心して安全なヨガ」を更に広く社会に普及させること、福祉活動を通じて社会に貢献することができればそれは個人の生きがいにもなることなどの意見が徐々に高まり、自主的にグループを作り、高齢者入所施設などに赴き、ヨガの技術と心のふれあいを提供するボランティアを始めました。

その結果、ボランティアの受益対象者である高齢者、障害を持つ児童、妊婦の方々もいきいきとして変化されていく様子が顕著な結果として現れて、施設職員、教育関係者、助産婦の方々から好評をいただいております。

以上、種々の活動を継続する中で、全国の仲間から志を一つにして、この際、日本ヨガ連盟を結成し、特定非営利活動法人格取得を希望する声が順次あがってきました。

特定非営利活動法人格を取得することにより、当団体の信頼が更に高まり、各施設での受け入れが更に容易になり、福祉活動が行い易くなり、また地域市民がヨガ活動へ参加しやすくなること、またヨガ指導者としての社会的認知を受けられることにより個人としての学習意欲の向上、指導する上での自覚と責任感の高揚などが考えられると判断しました。

その為の全国準備集会（北海道、青森、神奈川、長野、静岡、愛知、京都、大阪、滋賀、和歌山、兵庫、福岡、沖縄から参加）を2000年10月21日に大阪にて行い、日本ヨガ連盟を結成すると共に、特定非営利活動法人申請に至りました。

